



「選ばれる都市」さいたま市の継続

本市の人口増加数の全国順位は昨年の7位から6位に上昇



清水勇人市長

■令和8年熊本地震へ本市から支援

去る7月28日に発生した令和8年熊本地震で本市から、熊本県内の自治体に向け、住家被害認定調査等を行う職員の派遣と、支援物資の提供など、人的・物的支援を行っているところです。

■カナダ・ナナイモ市との提携30周年

カナダ・ナナイモ市との友好都市提携30周年を記念し、17月12日から16日に、添野副議長を団長とする市議会議員団と共に同市を訪問。現地では30周年記念公式式典へ参加するとともに、ナナイモ市長との会談や市内視察等を通じて、教育・文化交流をはじめ、まちづくりや多文化共生に関する意見交換を行いました。

■さいたま市スポーツ特別功労賞

さいたま市スポーツ特別功労賞を、FIFAワールドカップ2026に日本代表として出場し、活躍された鈴木彩艶選手へ、またミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックのフィギュアスケート競技に出場し、複数のメダルを獲得された佐藤選手へ、それぞれ贈呈しました。

■人口増加数全国6位に上昇

総務省が7月29日に発表した住民基本台帳に基づく人口動態調査によると、本市の人口増加数の全国順位は昨年の7位から6位に上昇。全国で人口減少が進む中、都市基盤整備や子育て・教育など、市民生活の質の向上に資する施策を進めてきた結果と受け止めております。

■地下鉄7号線延伸へ一歩前進

地下鉄7号線の延伸に向けては、6月30日に鉄道事業者から事業実施要請に対する回答があり、鉄道事業者による国への「整備構想・営業構想」の認定申請に向けて、また一歩前進できたと考えております。

■子育て支援と文化芸術の「浦和カルエ」

浦和駅西口の再開発事業では、6月30日に複合施設の浦和カルエ*1が竣工。8月3日には子育て支援センターうらわが移転、来年4月にはUrawa U Hall(市民会館うらわ)の開館も予定。

■全国平均上回る小・中学生の学力

8月3日公表の8年度全国学力・学習状況調査で、今年度も小・中学校ともに全国平均を上回る結果となりました。中学校英語では、国が公表する「平均IRTスコア」の最上位層に位置。「自尊意識」の質問、「自分には、よいところがあると思う」という項目で、肯定的な回答をした割合が小・中学校ともに93.5%と、非常に高い水準となりました。この結果は、本市独自の教育の成果が大きく表れたものと考えております。

■全国初ペロブスカイト太陽電池を設置

環境分野における先進的な取組として、上小(かみこ)小学校体育館の屋根にフィルム型ペロブスカイト太陽電池(フィルム型PSC)*2を設置、8月25日に森下千里環境大臣政務官を迎えて、お披露目式を行いました。これは、環境省の「ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業」に、国内で初めて、本市が採択を受けた事業です。

■夏祭りと花火大会での笑顔

今年も各地で夏の風物詩であります夏祭り及び花火大会を開催。まち全体がにぎわいに包まれ、皆様が笑顔で交流される様子を見ることができました。これらの催しが地域の絆を深める場となり、皆様の心に残る思い出になったものと感じております。

■ゆるバースでヌウの応援を

10月3日・4日開催の、ゆるキャラ日本一を決める「ゆるバース2026」の決選投票会場に、さいたま新都心が選ばれました。本市からは、「つなぐ竜ヌウ」が出演しております。今年は本市誕生25周年という特別な年でもあり、開催地の自治体として、ヌウの魅力、さいたま市の魅力を全国へ届ける大会となるよう、共に盛り上げてまいりたいと考えております。

県民公論のマスコット



*1 浦和カルエ

- ・8月から「子育て支援センターうらわ」が開設。
- ・来年4月には「市民会館うらわ(ウrawaユーホール)」が開館。
- ・「カルエ」とは、浦和の文化を継承し、新たな文化を発信する場として、「culture(芸術・文化)」 「education(教育)」からネーミング。

*2 フィルム型PSC

「薄い・軽い・柔軟で曲がる」といった特性を持ち、ビルの壁面や屋根まで設置が難しかった場所にも導入できる可能性がある。



型太陽電池 お披露目

県民公論
電子版

こちらからどうぞ→

(令和8年9月2日 さいたま市議会9月定例会
開会にあたっての市長あいさつ 要約本紙)